



# 学校だより

11月号

令和5年10月31日

足立区立舎人第一小学校

校長 澁谷 あゆみ

## 自分と向き合う特別活動

特別活動委員会 吉田 美由紀

小学校の特別活動とは、「様々な集団生活に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決していく教育活動」のことです。これらは小学校ならではの活動であり、塾との違いが顕著に表れる活動です。そしてこの特別活動とは「活動」という言葉から、子供たちの意識が自分以外の場所に向かって働いてように思えますが、実はそうではないように私は感じています。委員会、クラブ、たけのこ班活動など様々な活動の中で子供たちは自分で感じ、考えたことを言葉にのせたり、行動に移したりしますが、それだけで終わることはないからです。活動中や、活動後は自分が関わった子が自分のことをどのように受け止めたのか、自分の思いは正しく伝わったか、もっと分かってもらうためにはどうすれば良かったか、などと自分と向き合っている様子が子供たちから見られます。天気、環境作り、その場の雰囲気など、知識だけではどうにもならない状況にも対応しなければなりません。小学校ではこれを「振り返り」といい、自分はいったい何が得意で、何が苦手なのか、もっとよくするためにはどうすれば良かったかを考えます。6年生は振り返りをしながら、次のたけのこ班活動を想像し、下級生に話す練習をすることもあります。少しずつですが、活動を通して子供たちに自信がついてきているのを感じられる今日この頃です。もしかしたら考える機会が多ければ多いほど、人は安心し、より安定した心で過ごすことができるのかもしれない。不安なのは、考えずそのままにしているからではないでしょうか。

人と自分と繋がるための特別活動。今後もより具体的な考えや行動を通して子供たちに寄り添っていきたいと思います。

## 学習発表会ができるまで

特別活動委員会 南出 淑恵

本校、初めての学習発表会が11月10日、11日に行われます。私自身、教員として初めての学習発表会で少し不安もありましたが、いざ、4年生の子供たちと相談し様々なことを決めていくうちに、学習発表会の良さを感じるようになりました。学習発表会は、子供たちの学びをダイレクトに発表できる場です。定番の形はありません。0から子供達と作っていきます。そこが難しいところでもありますが、楽しいところでもあります。4年生は都道府県について発表することに決めました。「〇〇県の有名な食べ物を伝えたい」「衣装は〇〇を着たいな」「ここは方言で言ってみよう」など、子供たちの中からアイデアが出てきます。そのアイデアを形にするためにはどうすれば良いかみんな考え話し合います。そのようにして決まったことを、見てくれる人の立場に立って伝えたいことが伝わるような発表ができるよう練習をします。今まさに、どの学年もそんな風で作っている真っ最中です。『自分たちで創り上げた学習発表会』そんな風に子供たちが感じ、自信をもって本番を迎えてくれることを願っています。本番ができるまでの過程を想像しながら、ぜひお楽しみください。